

【研究会概要】

- ◆主催 : 泉大津市
- ◆協力 : グローバルヘルスイニシャティブ
- ◆開催日時 : 2019年7月2日(火) 14時~17時10分 (受付13時30分~)
- ◆開催場所 : 泉大津市消防本部庁舎 市民研修室 (住所:泉大津市池浦町1丁目9番9号)
- ◆プログラム :
 - 開催案内 (13時57分~) 司会
 - 開催挨拶 (14時00分~14時10分)
挨拶 : 「本計画に対する泉大津市の取組み紹介」 泉大津市長 南出 賢一

 - 研究会趣旨 (14時10分~14時25分)
テーマ : 「アビリティ実証都市研究会とリビングラボ、市民会館跡地活用の説明」
講師 : 新産業文化創出研究所 廣常 啓一

 - 有識者によるセミナー(14時25分~14時55分)
テーマ : 「泉大津から発信をしよう!ロボット技術を活用した健康寿命延伸生き生き社会の実現」
講師 : 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 産学連携部医療機器研究課
プログラムスーパーバイザー /大阪工業大学教授 本田 幸夫 氏

 - 発表 関連技術や事業者の発表8名(14時55分~17時10分)
コーディネーター : 新産業文化創出研究所 廣常 啓一
(プレゼン時間1名10分+ディスカッション5~10分程度、発表者数により変更可能性あり)

 - 発表① (14時55分~15時05分)
テーマ : 「身体を整える」
発表者 : ウェルネスネット株式会社 取締役専務
メディカルフィットネスARK たにぐち骨格矯正院 谷口 範尚 氏

 - 発表② (15時05分~15時15分)
テーマ : 「センシングデバイスとアプリケーションで、楽しく手軽に科学的自立支援を実現」
発表者 : 株式会社Moff リハプロデューサー理学療法士 (合同会社アグリハート) 木村 佳晶 氏

 - ディスカッション(1) (15時15分~15時25分)
各発表者間、聴講者など会場全体が参加可能なディスカッションとして、質疑や発表者への提案などを含めて進める。

 - 休憩 (15時25分~15時35分)

○発表③ (15時35分～15時45分)

テーマ：「鍼灸の価値とこれからの時代の必要性」

発表者：リーフ鍼灸整体 本田 洋三 氏

○発表④ (15時45分～15時55分)

テーマ：「歩行支援パワードウェアによる健康増進ソリューションについて」

発表者：株式会社 ATOUN の代表取締役社長 藤本 弘道 氏

○ディスカッション(2) (15時55分～16時05分)

各発表者間、聴講者など会場全体が参加可能なディスカッションとして、質疑や発表者への提案などを含めて進める。

○発表⑤ (16時05分～16時15分)

テーマ：「呼吸でリセットできるエクササイズ 笑い・呼吸・姿勢笑とれっち (笑いストレッチ)」

発表者：笑いヨガスタジオ主催、ストレッチトレーナー

笑いヨガティーチャー・健康管理士 松下 いづみ 氏

○発表⑥ (16時15分～16時25分)

テーマ：「転倒による衝撃を緩和する機能を持つロボット歩行支援、リハビリトレーニングに活用可能な寄り添いロボット」

発表者：サンヨーホームズ株式会社ライフサポート事業本部常務執行役員 兼

ライフサポート事業本部長 細井 昭宏 氏

○ディスカッション(3) (16時25分～16時35分)

各発表者間、聴講者など会場全体が参加可能なディスカッションとして、質疑や発表者への提案などを含めて進める。

○発表⑦ (16時35分～16時45分)

テーマ：「サイクルスポーツによる地域振興・健康増進策」

発表者：日本写真判定(株) スポーツ地域振興室 室長 川島 正和 氏

※発表者は代理が進行する場合がございます。

○発表⑧ (16時45分～16時55分)

テーマ：「楽しさを作るテクノロジー「TANO」を用いる事で認知症と傾向と機能改善の可能性を探る」

発表者：TANOTECH 株式会社 代表取締役 三田村 勉 氏

○ディスカッション(3) (16時55分～17時05分)

各発表者間、聴講者など会場全体が参加可能なディスカッションとして、質疑や発表者への提案などを含めて進める。

○全体総括 (17時05分～10分)

○閉会挨拶 (17時10分)

○終了後、会場にて名刺交換など交流会 (17時10分～18時)